

製品紹介

OBバルーン

ダブルバルーンタイプ



OBバルーン ダブルバルーンタイプ

“OB”= **O**bstetrics 産科学, **O**ppress **B**leeding 圧迫止血

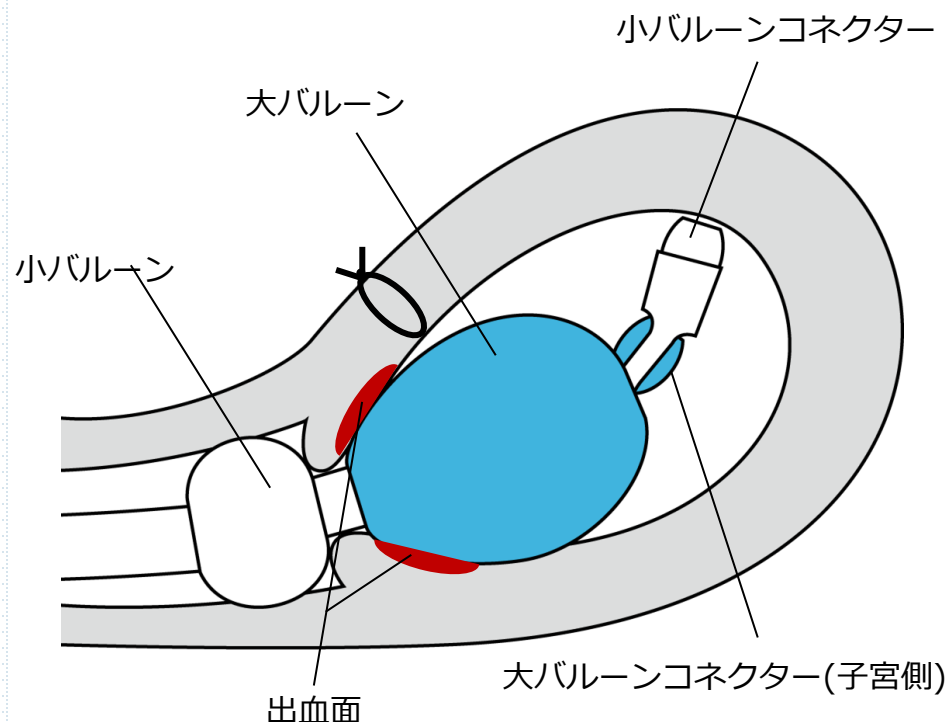
適応

分娩後24時間以内に発生する分娩後出血

製品の強み

1. 大小2つのバルーンで子宮頸部を挟むように留置することで、大バルーンを出血面に固定することができる。
2. 子宮側に各バルーンのコネクターがあるため、清潔術野にて術者自身が各バルーンを拡張することができる。

OBバルーン 止血イメージ



前置胎盤または低置胎盤における帝王切開術後のバルーンタンポナーデに有効

製品情報

製品名：OBバルーン

規格：ダブルバルーンタイプ
Φ 13×320mm

製品コード：26390010

JANコード：4526737261065

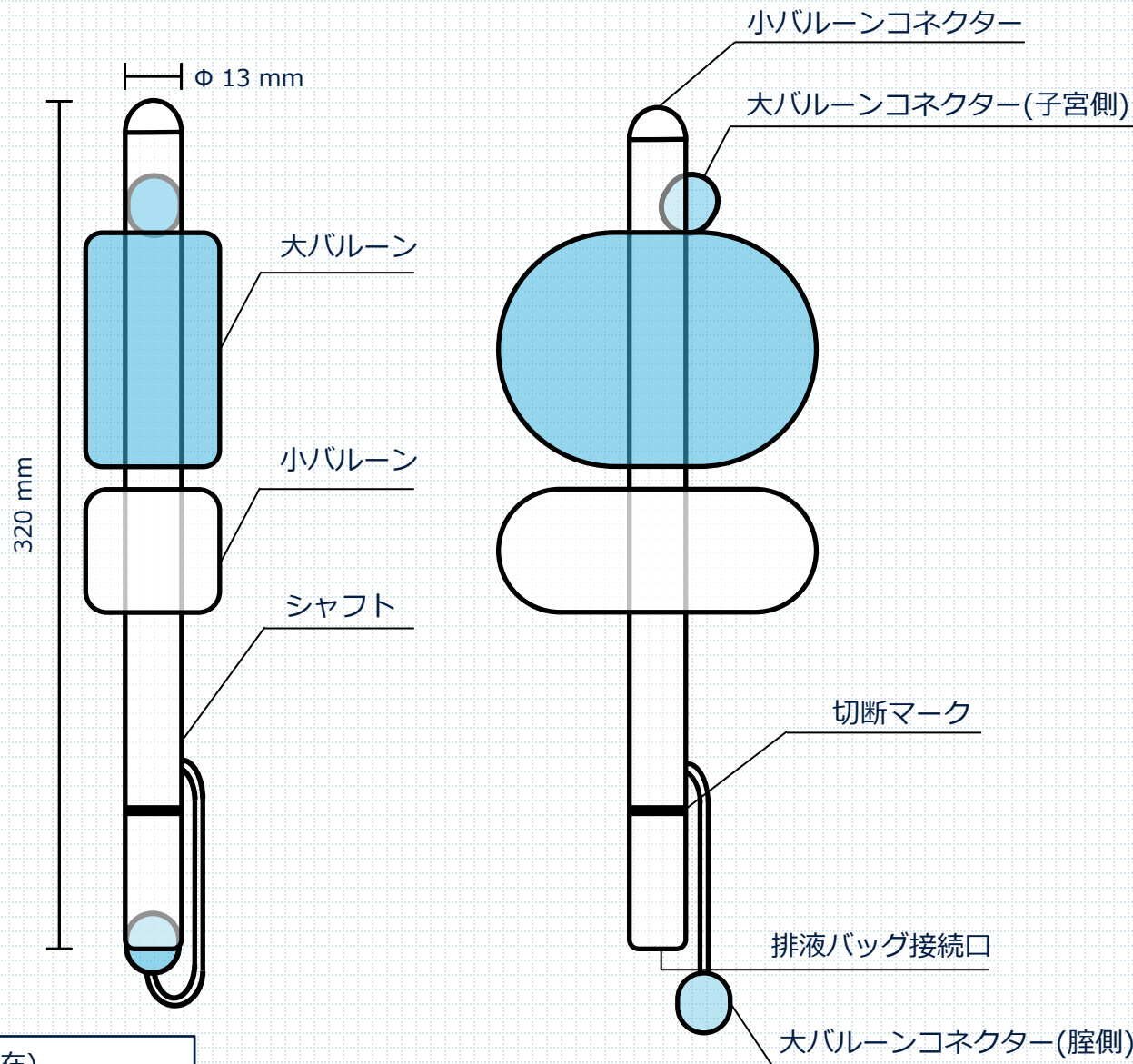
クラス分類：管理医療機器（クラスⅡ）

一般的名称：子宮用バルーン

JMDNコード：12155000

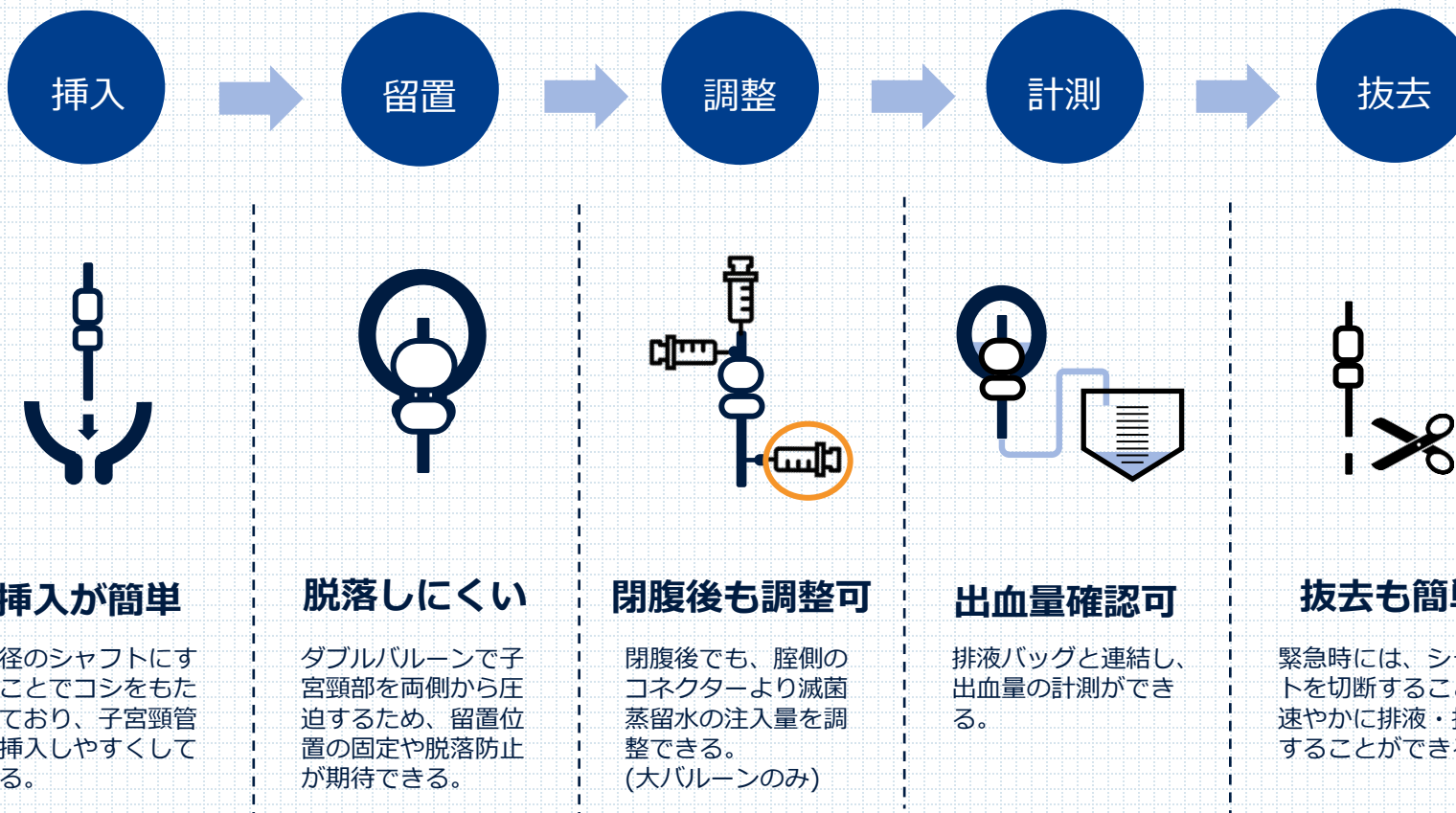
箱入り数：1本

標準価格：29,000円



本製品は特定保険医療材料です。(2023年4月現在)
「176 子宮用止血バルーンカテーテル」 償還価格：18,700円

OBバルーンの特長

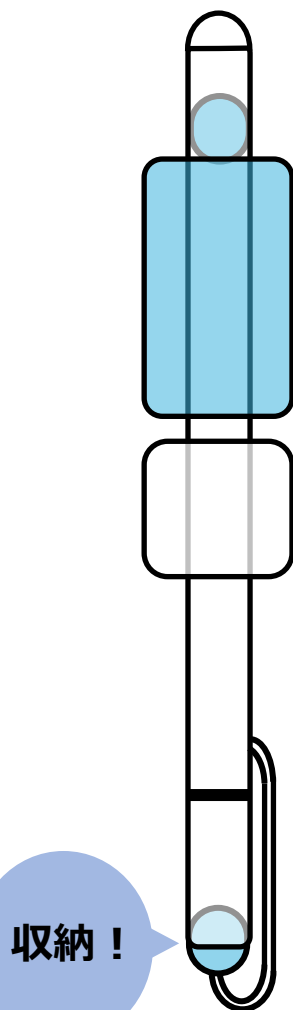


<経腹的留置>

使用方法

00

OBバルーンを準備する



ポイント
1

事前に各バルーンを拡張させて、適切なバルーンサイズを確認しておく。

ポイント
2

両バルーン内のガスをシリンジで抜いておく。

ポイント
3

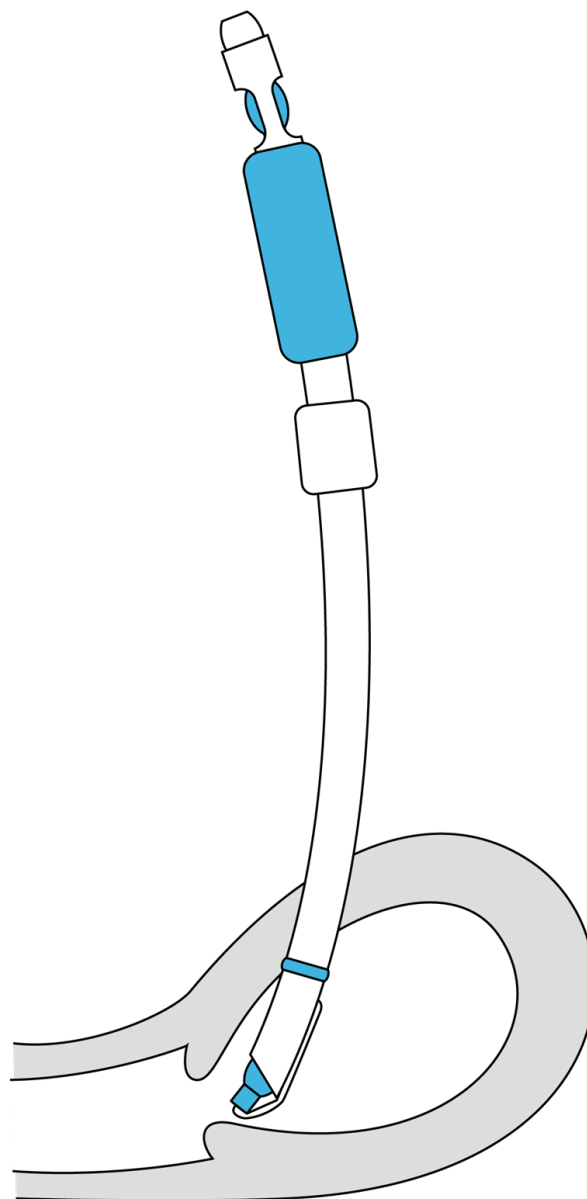
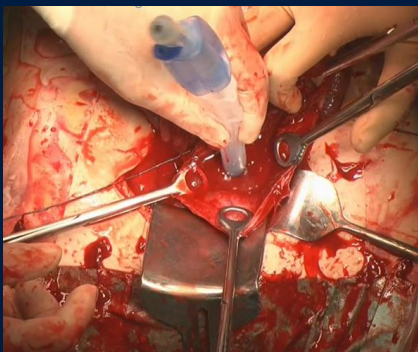
排液バッグ接続口到大バルーンコネクター（腔側）を収納しておく。

＜経腹的留置＞

使用方法

01

術野からOBバルーンを挿入
する



ポイント
1

子宮頸管拡張器を使用し、
子宮頸管を1指程度開大させて
おく。

ポイント
2

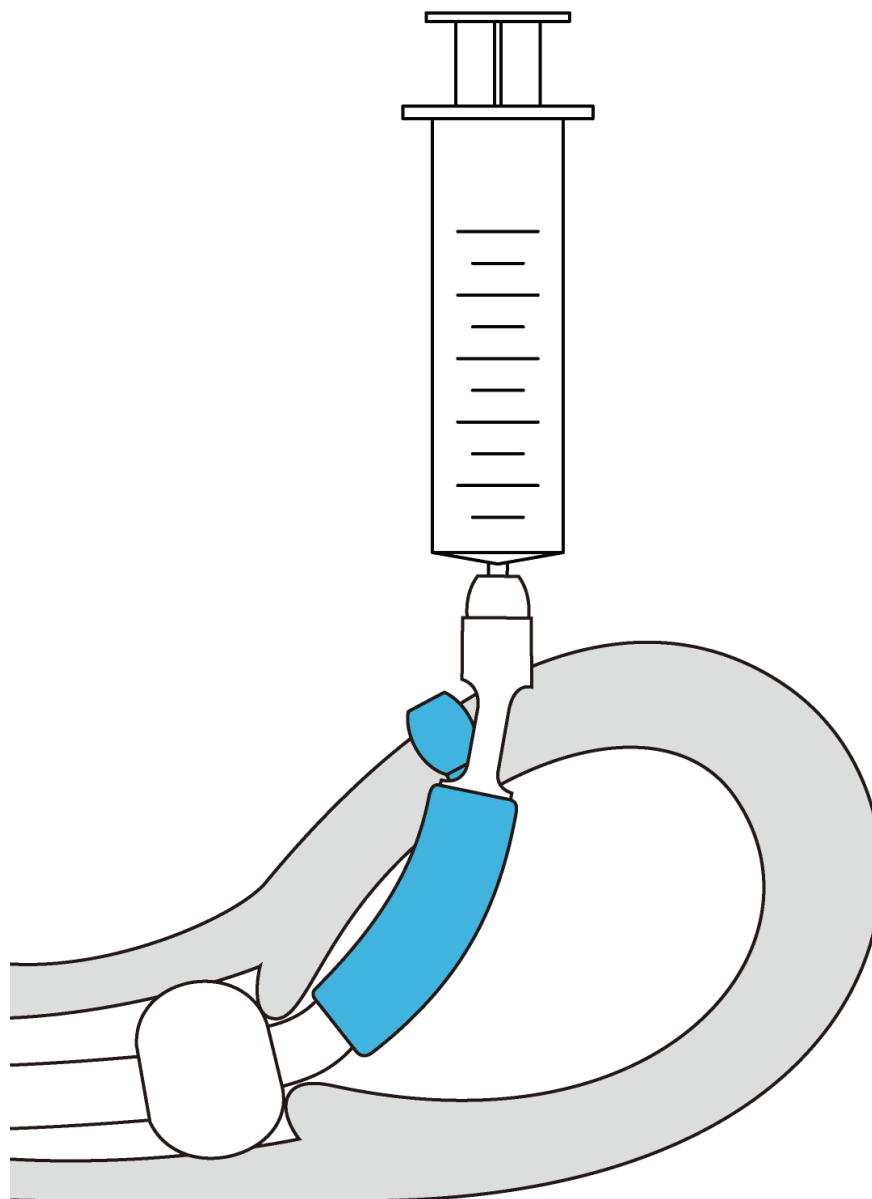
シャフトの長尺側を先頭にして、
子宮切開創から子宮頸部に向け
て製品を挿入する。

＜経腹的留置＞

使用方法

02

小バルーン(腔側)に滅菌蒸留水を注入し拡張させる



ポイント
1

小バルーンが子宮頸部を通過するまで挿入したのち、滅菌蒸留水は**50mL***を目安に注入する。
(最大で100mL注入可能)

ポイント
2

製品を子宮側へ軽く牽引し、小バルーンを外子宮口へ密着させる。

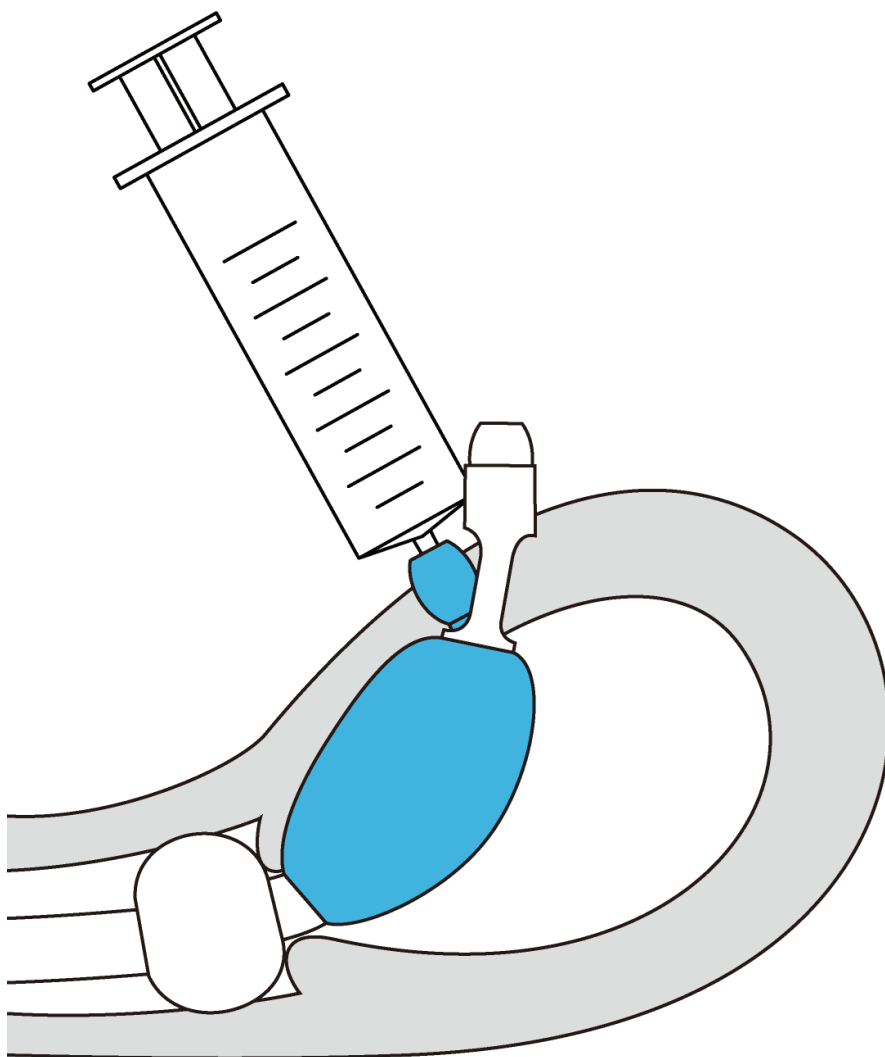
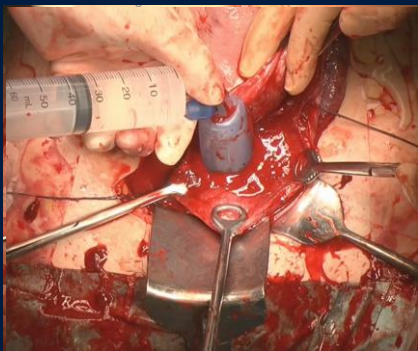
* 臨床現場にてご使用頂いた経験上の数値。
ポイント2の牽引時抜け防止のため、15mL以上は注入すること

<経腹的留置>

使用方法

03

大バルーン(子宮側)に滅菌
蒸留水を注入し拡張させる



ポイント
1

滅菌蒸留水の注入量は
80mL以上*が目安。
500mLまで注入することが可能。

ポイント
2

注入後は大バルーンコネクター
(子宮側)をシャフト内に収納
する。

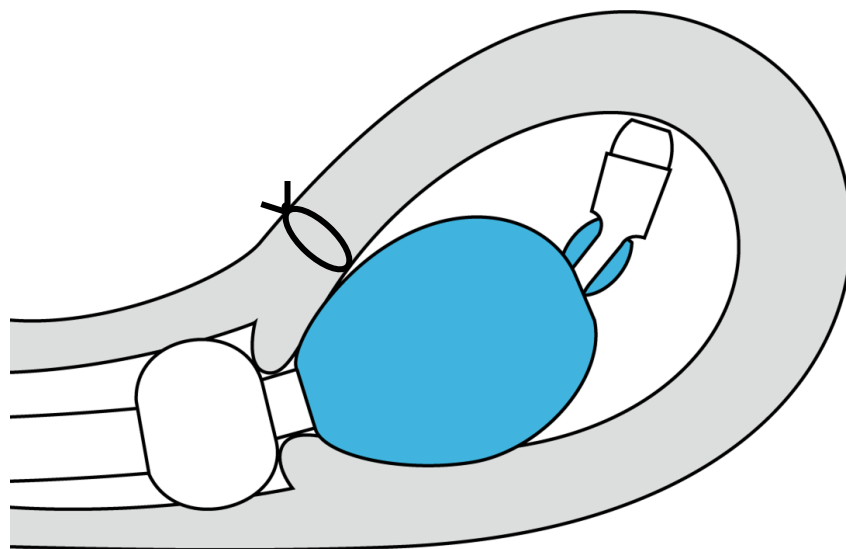
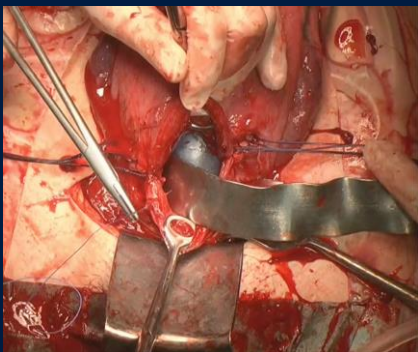
* 臨床現場にてご使用頂いた経験上の数値。

＜経腹的留置＞

使用方法

04

子宮筋層を閉創する



ポイント
1

大バルーンコネクター（子宮側）をシャフトにしまいこみ、大バルーンとシャフト先端部を子宮内に押し入れる。

ポイント
2

縫合時にバルーンを損傷しないように腸ベラなどで保護する。

＜経腹的留置＞

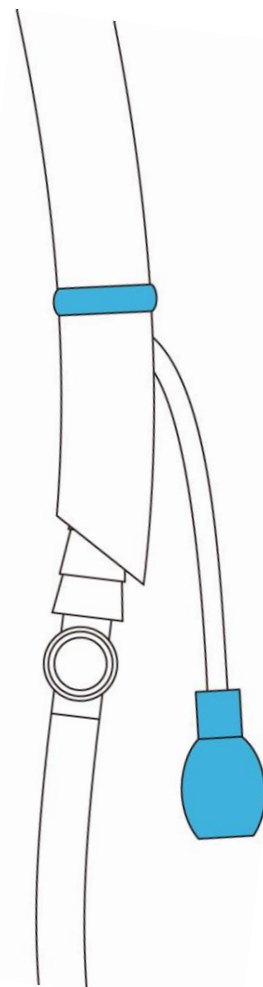
使用方法

05

排液バッグを連結し、出血
量をモニタリングする



バルーン



排液バッグ



ポイント
1

連結部、先端を深く挿しこみ、
わき漏れを防ぐ。

ポイント
2

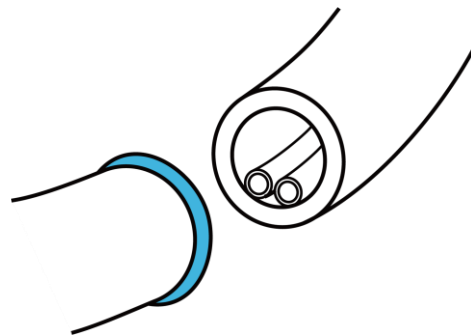
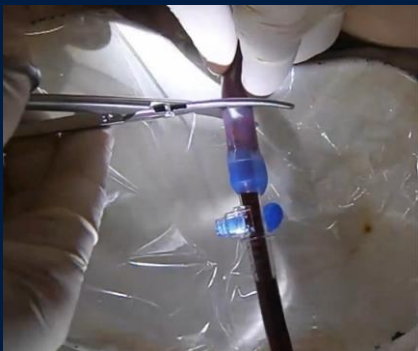
大バルーンコネクター（腔側）
より大バルーンの拡張または収
縮を行うことができる。

＜経腹的留置＞

使用方法

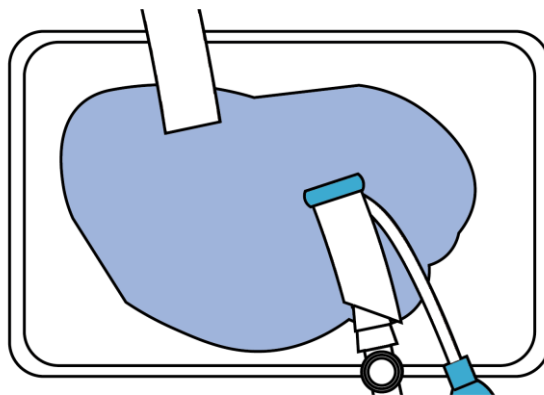
06

バルーン内の滅菌蒸留水を
排出し、バルーンを抜去する



注意

排液時の受け皿を用意してください！



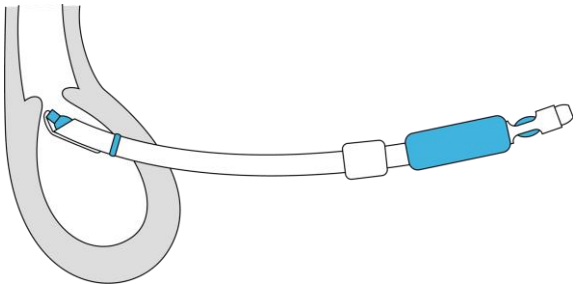
ポイント
1

留置後24時間以内に抜去する。

ポイント
2

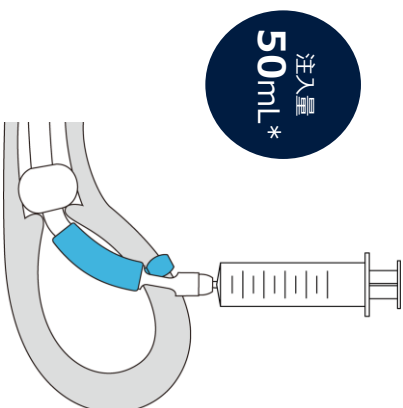
大バルーンコネクター（腔側）
より大バルーンを徐々に収縮さ
せたのち、切断マークをはさみ
でカットして小バルーンを収縮
させる。

01



膣側のコネクターを収納し、術野からOBバルーンを挿入する。

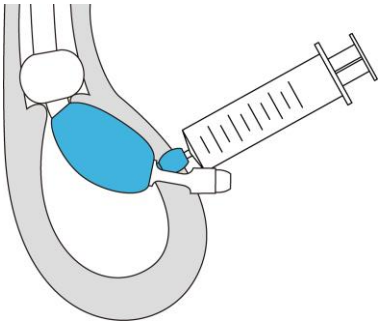
02



注入量
50mL*

小バルーンに滅菌蒸留水を注入し拡張させる。

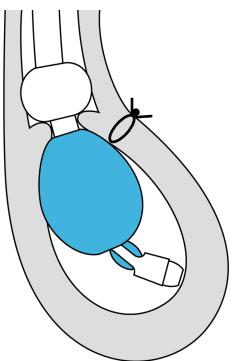
03



注入量
80mL
以上*

大バルーンに滅菌蒸留水を注入し拡張させる。

04



子宮筋層を閉創する。

* 臨床現場における経験上の目安量



注意事項

- ・バルーンを鉗子等の鋭利な器具で挟まないでください。
- ・バルーン拡張には滅菌蒸留水を使用してください。
- ・24 時間を超えて本品を留置しないでください。